

# 北九州市立松ヶ江中学校 学校通信

## 今は未来のためにある

令和8年度に高める力のキーワード  
「あいさつ」、「黙働」、「敬語」、「アンテナ力」

No.9 令和8年5月11日 発行者;校長 小倉 大二

### 【学校教育目標】

校訓「誠実・勤勉・礼儀」に則り、  
思いやりの心を持ち、  
新たな価値創造に挑戦する中で、  
母校への誇りをはぐくむ生徒の育成

## 学校どこでも図書館

今、北九州市では、「本に親しむこと」を、単なる学習活動の一つではなく、子どもたちが**自分の人生を豊かに生きていくための大切な力を育むもの**として位置付け、読書推進に力を注いでいます。

本を読むことは、新しい知識を得るためだけのものではありません。物語の登場人物の気持ちに思いを寄せたり、筆者の考えに触れたりする中で、子どもたちは他者を理解する心や自分で考え、感じ、表現する力を少しずつ育てていきます。また、言葉の力が豊かになることは、学習の土台となるだけでなく、人との関わりや自分自身を見つめる力にもつながっていきます。

そこで、松ヶ江中学校では、こうした考えのもと、「**学校どこでも図書館**」をスローガンに掲げ、「本に親しむきっかけづくり」「読む楽しさを知る経験」「読書を生活の一部にすること」を目的に「本は身近で面白いもの」と感じられるような取組を進めています。



職員室前に「先生のおススメ」の本コーナーを設置しました。



図書室下の階段踊り場に、ちょっとした「読書ブース」をつくりました。



昨年に引き続き、子ども電子図書館も活用しています。

ぜひ、ご家庭でも、短い時間で構いませんので、お子様と本の話をしてみてください。

「どんな本を読んでいるの?」

「どんなところが面白かった?」

そんな一言が、子どもたちの読書への意欲を大きく育てます。

読書は、すぐに目に見える成果が表れるものではありません。しかし、心の中に静かに積み重なった言葉や物語は、やがて子どもたちが困難に向き合うときに大きな力となって表れるはずです。

まさに、「今は未来のためにある」です。

### 「読書は、心を耕し、豊かな人生を育む「種」



「すべての子どもたち、大人たちが本に親しみ、読書の楽しさを実感する心豊かなまちへ。」

# 知っておきたい SNS アプリの特徴と危険性

報道等でご存じの方も多いと思いますが、先日、「BeReal」により職場の個人情報が流れるという事件が発生し、世間を騒がせました。近年、スマートフォンや SNS は、とても身近で便利な存在となりました。一方で、使い方を誤ることで、思わぬトラブルに巻き込まれたり、意図せず加害者となってしまったりする事例が全国で報告されています。特に、これらのアプリについては、大人以上に子どもを含む若者の方が詳しく、使用頻度も高くなっているのが現状です。

最近では、「日常の写真や動画を気軽に共有できるアプリ」「匿名でやり取りできる SNS」「身内だけの限定公開」と思って使用しているサービスにおいても、不特定多数が内容を閲覧・拡散できる状況が生まれやすくなっています。

こうした現状をふまえ、保護者の皆様にも現代の SNS、アプリの特徴と注意点についてご理解いただきたく、以下に「使い方を誤るとトラブルの可能性のあるアプリ」についてお知らせいたします。

## 《「活用度が高いアプリ」と「知っておくべき注意点」》

アプリ名	特徴	知っておくべき注意点（想定されるリスク）
Instagram	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真、動画を投稿する SNS</li> <li>ストーリーズ(24 時間で消える投稿機能)が人気</li> <li>「フォロワー限定」「非公開設定」が可能</li> <li>DM (ダイレクトメッセージ) で個別のやり取りができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔写真や制服の写り込みによる個人が特定される可能性</li> <li>ストーリーズのスクリンショットや画面録画は残る</li> <li>悪意がなくても、コメント欄での一言が誹謗中傷になる</li> <li>相手への「愚痴(ぐち)」が公開の場では問題行為になる</li> <li>暴力や危険行為、迷惑行為等の動画の拡散</li> <li>他人を映した動画(個人情報)の無断投稿</li> </ul>
TikTok	<ul style="list-style-type: none"> <li>短時間動画を投稿、視聴するアプリ</li> <li>知らない人の動画も自動的に表示される</li> <li>拡散力が非常に強い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔写真や制服の写り込みによる個人が特定される可能性</li> <li>不用意な動画投稿で炎上(誰かを馬鹿にする内容が広まる)</li> <li>拡散力が非常に強く、削除しても残る</li> <li>暴力や危険行為、迷惑行為等の動画の拡散</li> <li>他人を映した動画(個人情報)の無断投稿</li> </ul>
X	<ul style="list-style-type: none"> <li>短い文章を中心に投稿</li> <li>匿名利用が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>匿名性による暴言、中傷(匿名性により、強い言葉が使われやすい)</li> <li>位置情報付き投稿</li> <li>誹謗中傷やデマの拡散に加担してしまう(「いいね」も責任が伴う)</li> </ul>
Threads	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の拡散が非常に速い</li> </ul>	
BeReal	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 日 1 回、通知が来たら 2 分以内に写真を撮って共有</li> <li>加工ができない</li> <li>前後カメラ同時撮影が基本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背景に他人や書類が映り込み、職場、学校内部情報の無意識公開(他人の顔や個人情報の無意識な公開)</li> <li>「加工なし」が、人物等の特定につながり危険になる場合がある</li> <li>位置や生活パターンの特定につながる</li> </ul>
LINEオープンチャット	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINE とは別枠で匿名参加が可能</li> <li>名前やアイコンは自由に設定できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラブルや詐欺への関与(相手の年齢、立場が分からない)</li> <li>知らない人との交流(LINE の「不特定多数」の交流の場)</li> <li>内輪感覚で過激な会話になりやすい</li> <li>不適切発言の証拠が残る</li> </ul>
Discord	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャット、音声通話ができる</li> <li>サーバー制で閉鎖的な空間</li> <li>ゲーム利用がきっかけになることが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部から見えにくく閉鎖空間での過激発言</li> <li>違法情報の共有</li> <li>外から見えにくく、大人が気づきにくいいため、問題が深刻化しやすい</li> <li>グループ内での排除行為</li> </ul>
YouTube	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画投稿・視聴サービス</li> <li>コメント欄で誰でも意見を書ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔出し、声出しによる個人特定</li> <li>コメント欄での誹謗中傷</li> <li>投稿・コメントも「公的発言」として残る</li> </ul>
掲示板系アプリ各種	<ul style="list-style-type: none"> <li>「5ちゃんねる」「爆サイ」等</li> <li>不特定多数が閲覧可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「冗談のつもり」が拡散により重大事案に発展</li> <li>誹謗中傷、脅迫、犯罪予告、名誉毀損などの問題行動の可能性</li> </ul>

SNS は上手に使える便利な道具ですが、誤った使い方は大きな責任を伴います。

子どもたちが安全に、そして責任ある行動が取れるよう、お子様がどのようなアプリを使っているかを把握していただくとともに、「投稿する前に一度立ち止まって考える習慣」等について話し合うなど、ご家庭でもぜひ話題にさせていただきますようお願いいたします。